

会計別の予算額

区分	予算額
総額	80億4,781万円
一般会計	57億6,997万円
特別会計	18億9,087万円
水道収益的支出	2億3,352万円
水道資本的支出	1億5,345万円

区分	予算額
国民健康保険	13億915万円
後期高齢者医療	3億526万円
診療所事業	1億530万円
町営浄化槽整備推進事業	1億7,116万円

令和4年度一般会計当初予算額は

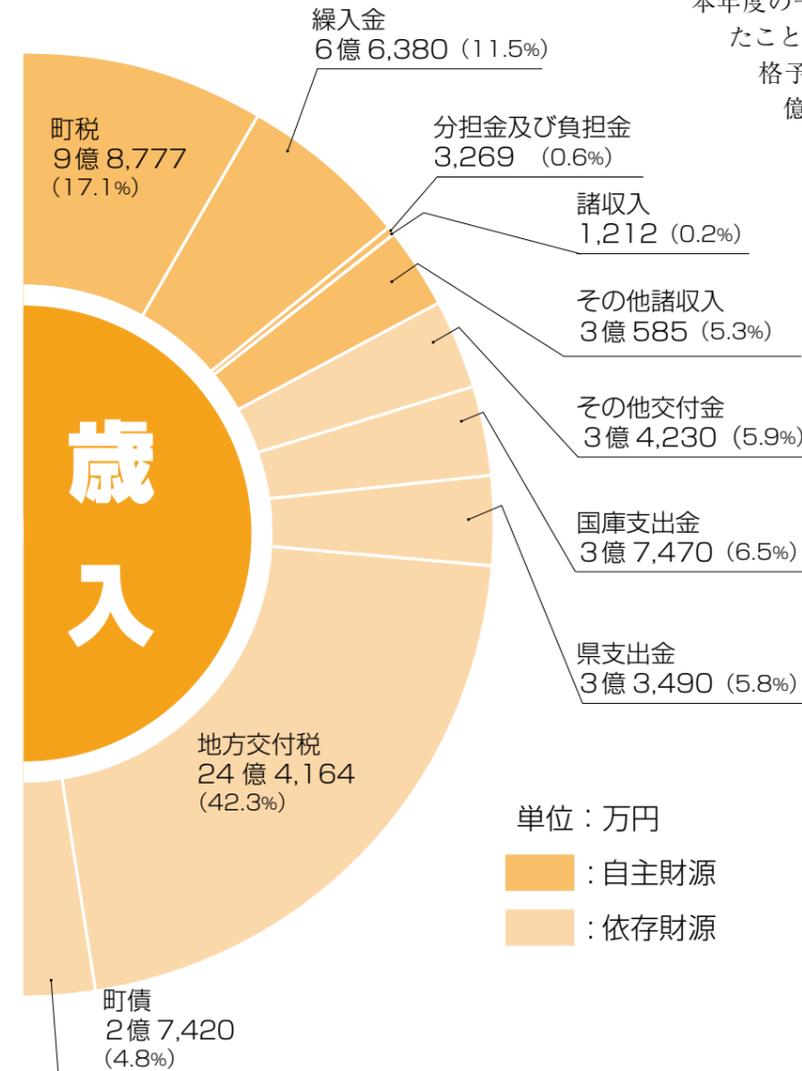
57億6,997万円

令和4年度予算が第1回町議会定例会で可決されました。本年度の一般会計当初予算は、1月末に町長選挙が行われたことから、継続事業と一部政策的事業などを含めた骨格予算であり、前年度に比べ4億4,955万円減の57億6,997万円となっています。

では、今年度の予算の使いみちについて、歳入歳出別にみてみましょう。

(予算額は、1万円未満を四捨五入しています。)

▶詳しくは、役場総務課(☎33-0333)までお問い合わせください。



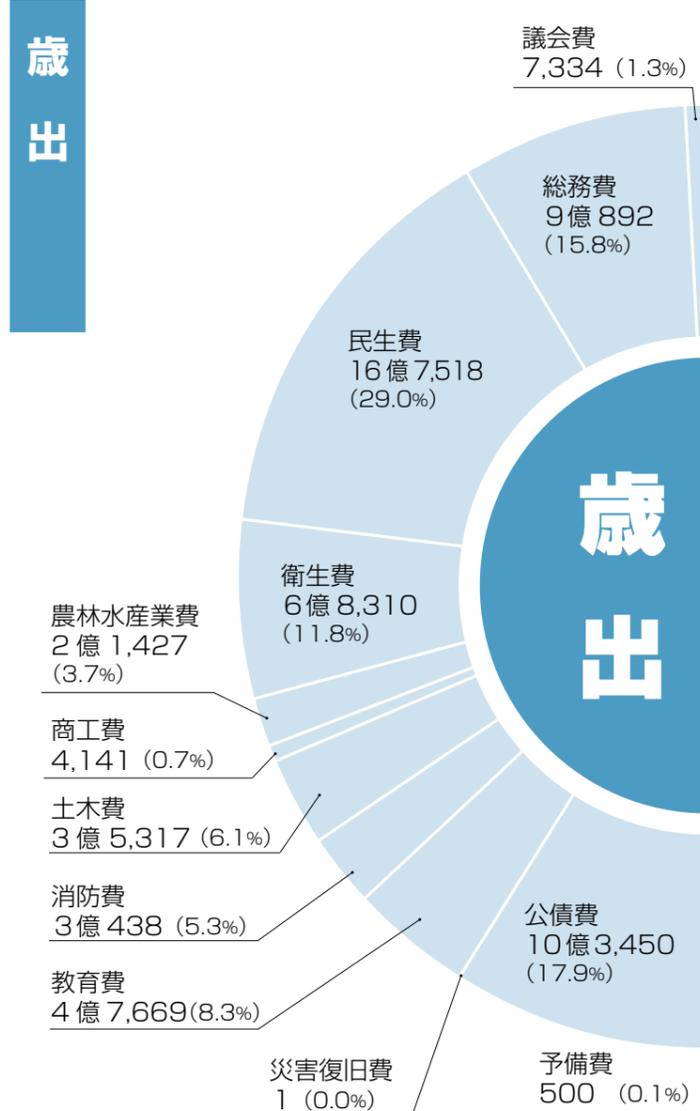
歳入

町債は4億8,900万円の減

町が自主的に収入を得ることができる財源のうち、町税収入(町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税)は前年度比3・7%増の9億8,777万円。また、

特別会計・基金からの繰入金、財政調整基金からの繰入額の減などで前年度比2・5%減の6億6,380万円。ほかに繰越金や保育料などの分担金及び負担金などを加えた自主財源は、全体の35%にあたる20億2,230万円となっています。

一方、地方交付税、国・県支出金、町債などのように、その調達を国や県などに依存している依存財源は37億6,774万円と全体の65%を占めています。さまざまな町づくりに使われる地方交付税は、前年度比4・7%増の24億4,164万円。一定の事業などに対し、国や県から補助金や負担金として支払われる国・県支出金は、前年度比21・8%減の7億9,600万円。町が行う事業や地方交付税の不足分などを補う財源として借りる町債は、前年度比59・9%減の2億7,420万円となっています。



歳出

教育費は3億8,988万円の減

令和4年度当初の一般会計歳出予算は、前年度に大型事業を行った教育費が前年度に比べ45%の減、同じく土木費が18・3%の減となつています。つきいそ整備事業を行う農林水産業費は50・8%の増となっています。

◆議会費

町議会議員の議員報酬や議会事務局職員の給与、議

◆民生費

児童や高齢者、障がい者の方たちへの福祉事業や保育所の運営、国民健康保険特別会

◆総務費

町長や総務課、企画調整課などの職員の給与や庁舎の管理、交通安全、防犯対策、選挙、町民バスの運行など

◆衛生費

ごみ処理やし尿処理などの環境に対する経費、病気を予防するための検診などの健康づくりに対する経費

◆農林水産業費

農地等の利用関係の調整などを行う農業委員会委員への報酬、農道や林道の新

◆公債費

事業を進めるため、借り入れた町債を返済する経費

◆教育費

幼稚園や小学校、中学校の運営やまなびの郷、図書館などの教育施設の管理・運営、教育委員会職員の給与、文化活動やスポーツの振興など

◆消防費

消防団活動や熊野市に委託している広域消防の分担金、防災対策事業への経費など

◆土木費

道路の維持補修や、港湾や輪中堤、防潮水門の管理など

◆商工費

商工業や観光の振興、ウミガメ公園や飛雪の滝キャンプ場の管理など

◆災害復旧費

町道成川鶴殿線排水路改良事業をはじめとした緊急自然災害防止対策事業

◆予備費

設・修繕など